サポート情報記事

Microsoft Teams に組織図を追加する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

前提条件 4

アプリを **Teams** で利用できるようにする 4

個人用アプリとして組織図を追加する 5

チャネル タブとして組織図を追加する 6

個人用アプリの既定設定を保存する 7

テーマとモバイル 8

用語 10

はじめに

多くの従業員は、イントラネットよりも **Microsoft Teams** で一日の大半を過ごしています。Vitextra の Organizational Chart は Teams アプリケーションとして提供されるため、会社の組織構造を、人々がすでに利用している場所に配置できます。Teams のサイドバーに固定する**個人用アプリ**として、またはチームのチャネルの**タブ**として追加でき、タブではそのチーム自身の組織の枝が表示されます。データ、レイアウト、ナビゲーションは **SharePoint** ページとまったく同じです。

この記事では、アプリを Teams で利用できるようにすること、個人用アプリまたはチャネル タブとして追加すること、個人用アプリの既定設定を保存することという 3 つの手順について説明します。Organizational Chart のパッケージがすでに SharePoint アプリ カタログに展開され、**Microsoft Graph** のアクセス許可が承認されていることを前提としています。

ヒント

製品がまだインストールされていない場合は、まず KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法と KB10235. Organizational Chart に必要な Microsoft Graph のアクセス許可を参照してから、この記事に戻ってください。

前提条件

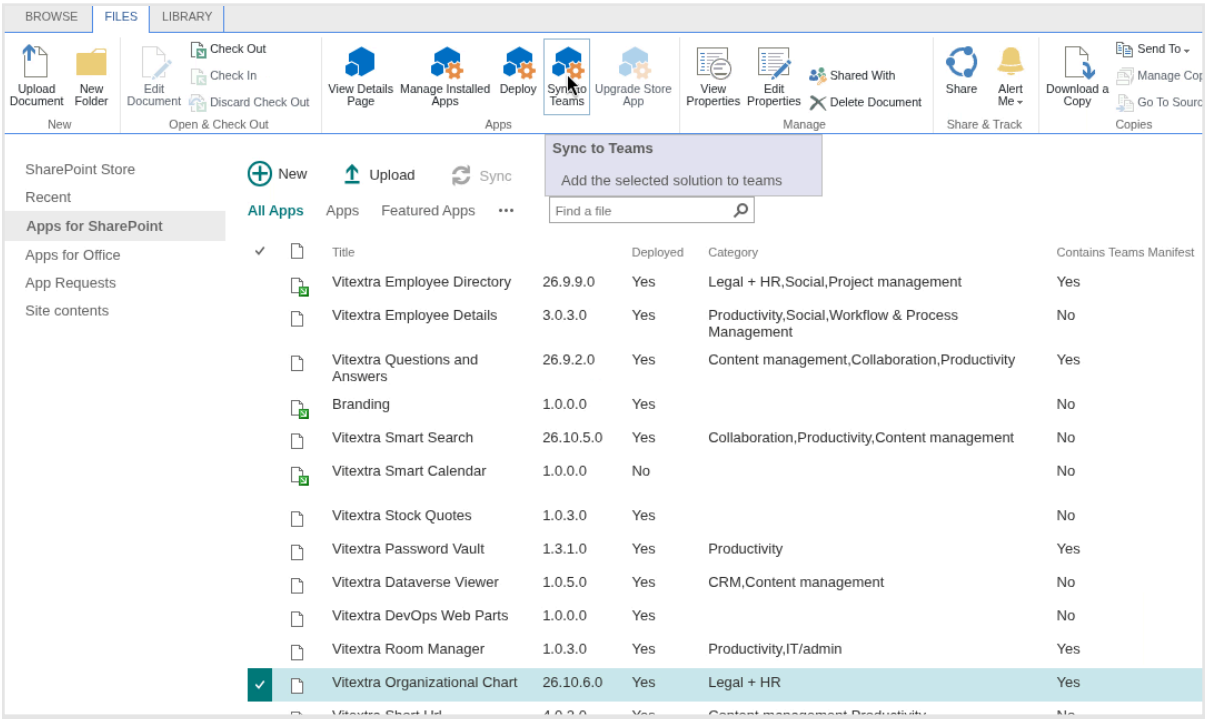
- アプリを Teams に同期するには、SharePoint アプリ カタログを管理する権限が必要です。通常は **SharePoint 管理者**ロールです。
- 同期済みのアプリを個人用アプリとして追加するために、特別なアクセス許可は必要ありません。Teams 管理者が組織向けに構築されたカスタム アプリを許可している限り、すべてのユーザーが Teams のアプリ ストアから追加できます。
- アプリをチャネル タブとして追加するには、チームのメンバーである必要があります (チーム所有者がタブを追加できるユーザーを制限している場合もあります)。

アプリを Teams で利用できるようにする

1 Microsoft 365 管理センターを開き、**管理センター**の下にある **SharePoint** に移動します。

2 SharePoint 管理センターで **その他の機能]** を選択し、**アプリ]** の下の **開く]** をクリックして、**アプリ カタログ → SharePoint 用アプリ** に移動します。
3 一覧から **Organizational Chart** パッケージを選択し、リボンの **ファイル]** (FILES) タブを開いて、**Teams に同期** をクリックします。

Successfully synced teams solution という通知が表示され、**Teams アプリ** パッケージが組織のアプリ ストアに公開されたことが確認できます。Teams アプリは SharePoint パッケージにリンクされているため、アプリ カタログにインストールした更新プログラムは Teams にも適用されます。



Teams へのアプリの公開

メモ

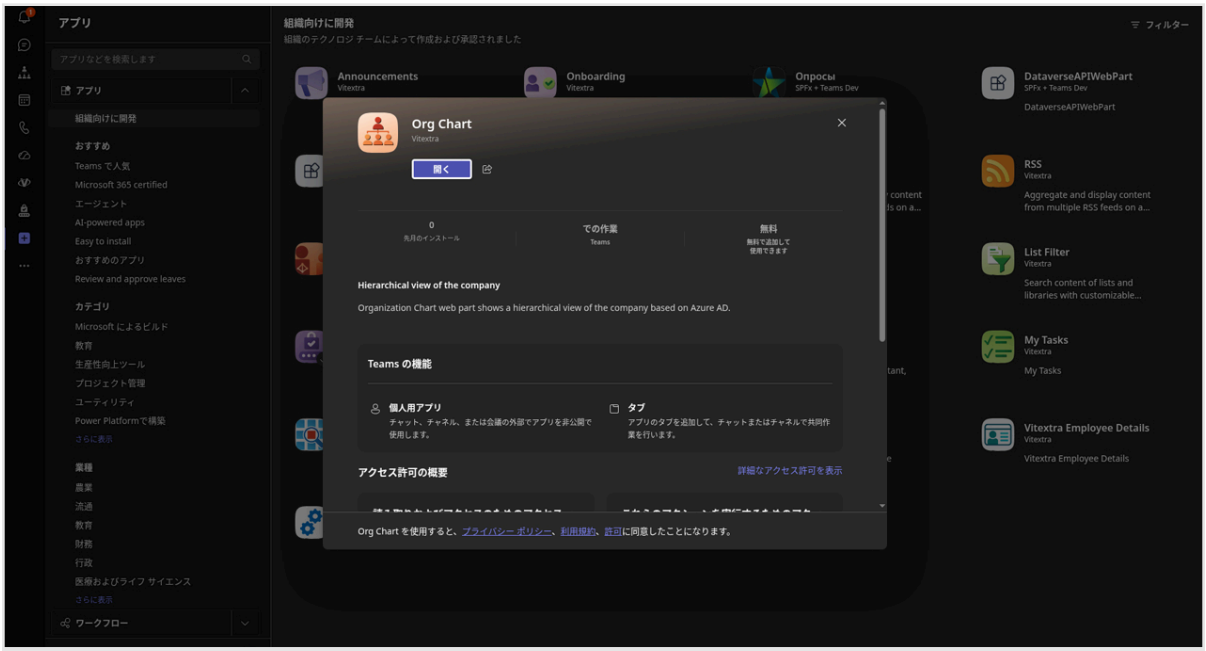
別の方法として、Teams 管理者が Teams 管理センターの **Teams アプリ → アプリの管理 → 新しいアプリのアップロード**から、Teams アプリ パッケージを手動でアップロードすることもできます。パッケージは、製品に含まれている `TeamsSPFxApp.zip` ファイルです。**Teams に同期** ボタンを使用する方法のほうが簡単で、こちらをお勧めします。

個人用アプリとして組織図を追加する

1 Microsoft Teams で、左側のサイドバーにある **アプリ]** をクリックします。

2 カテゴリの一覧で **組織向けに構築]** (Built for your org) を選択します。ここには、自分のアプリ カタログから同期されたアプリが表示されます。
3 Vitextra が公開している **Org Chart** タイルを探してクリックします。
4 詳細ページで **追加]** をクリックします (*チームに追加]* ではありません)。

アプリが左側のサイドバーに表示されます。アプリを開くと、検索ボックス、ツールバー、KB10234. Organizational Chart: エンド ユーザー向けクイック ガイドで説明しているすべてのナビゲーション機能とともに、会社全体の組織図がすぐに表示されます。



Teams アプリ ストア内のアプリ

ヒント

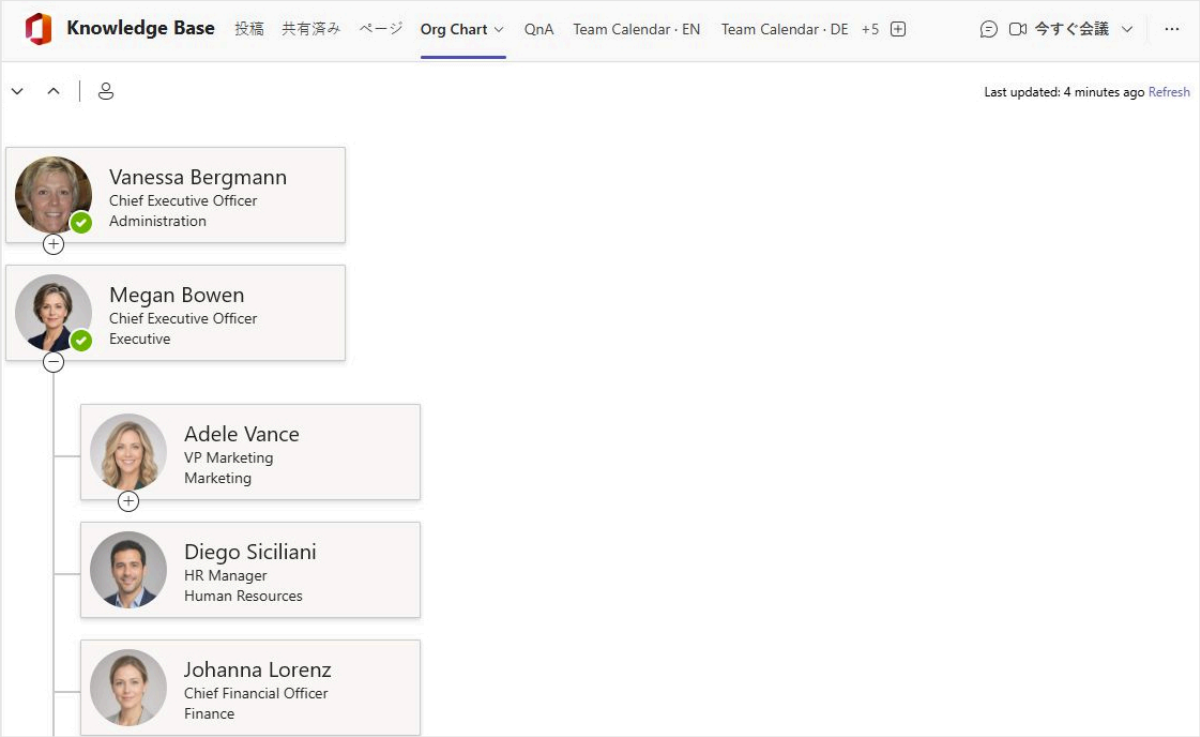
この方法で追加したアプリは、**追加]** をクリックしたユーザーのみに固定されます。すべてのユーザーのサイドバーに組織図を表示するには、Teams 管理者が Teams 管理センターの**アプリ セットアップ ポリシー**を使用して、テナント全体に固定できます。

チャネル タブとして組織図を追加する

1 組織図を配置するチームとチャネルを開き、上部のタブ バーにある **+** をクリックします。
2 アプリの一覧から **Org Chart** を探し (必要に応じて検索ボックスを使用)、選択します。

3 ダイアログで **追加]** (または **保存])** をクリックします。タブが開き、Web パーツのプロパティ ウィンドウが表示されます。
4 このチーム用に組織図を構成します。通常は、**グラフ モード → 特定のユーザーに報告する従業員** を選択し、**個人** にチーム リーダーを指定して、タブにそのチーム自身の枝が表示されるようにします。構成が終わったら、プロパティ ウィンドウを閉じます。

タブは、個人用アプリや他のチャネルとは独立した、タブ固有の設定を保持します。チーム所有者は、タブのメニューにある **設定]** から、後で設定を変更できます。



Teams チャネルのタブ内の Web パーツ

個人用アプリの既定設定を保存する

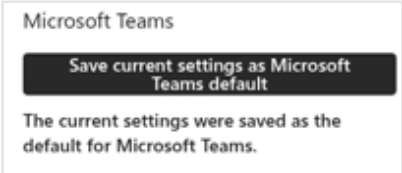
個人用アプリには設定を保存するページがないため、すべてのユーザーに、初期設定のまま、つまり会社全体、縦方向のレイアウト、3 階層、標準のカード フィールドで組織図が表示されます。すべてのユーザーに統一された構成の組織図を提供するために、Organizational Chart では、個人用アプリの**テナント全体の既定設定**を保存できます。

1 Teams 内で Web パーツのプロパティ ウィンドウを開きます。たとえば、個人用アプリの見た目にしたい構成で設定したチャネル タブから開きます。
2 **Microsoft Teams** グループまでスクロールします。このグループは、Web パーツ

が Teams で実行されている場合にのみ表示されます。

3 **現在の設定を Microsoft Teams の既定として保存** をクリックします。*現在の設定を Microsoft Teams の既定として保存しました。* というメッセージが表示され、操作が完了したことが確認できます。

以降は、個人用アプリを開くすべてのユーザーに、保存された構成が適用されます。対象は、組織図モードとルートとなるユーザー、レイアウト、階層、カードのサイズとフィールド、フィルターと除外、エクスポート形式です。保存された既定設定は、チャネル タブや SharePoint ページには影響せず、それぞれが独自の設定を保持します。



Microsoft Teams の既定設定の保存

警告

既定設定はテナントごとに保存され、すべての Teams ユーザーで共有されます。そのため、組織図の構成を管理する管理者が保存する必要があります。再度保存すると、以前の既定設定は上書きされます。新しい既定設定を反映するには、ユーザーが個人用アプリを開き直す必要があります。

テーマとモバイル

組織図は、**ダーク**モードや**ハイ コントラスト**モードを含め、Teams のテーマに自動的に追従します。Teams のモバイル アプリでも組織図を利用できます。モバイルでは、ズームしなくても狭い画面に収まる**垂直方向の配置** レイアウトが適しています。

ヒント

プロパティ ウィンドウで使用できる設定 (Teams でも SharePoint ページでも同じです) の詳しい説明は、KB10233. Organizational Chart Web パーツの追加と構成方法を参照してください。

製品の詳細: *https://vitextra.com/ja/products/org-chart*

用語

Microsoft Graph

Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Microsoft Teams

Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

Teams アプリ

Teams アプリは、タブ、ボット、メッセージ拡張機能、会議拡張機能などの機能で Microsoft Teams を拡張するアプリケーションです。Teams アプリは、Teams アプリ ストア、AppSource、または組織のカタログを通じて、アプリ パッケージとして配布されます。